

三井住友建設のグループ入りに伴う業績数値説明会

September 30, 2025

目次

1. 2026年3月期 期末業績予想修正
2. 中期経営計画『INFRONEER Medium-term Vision 2027』業績目標修正
3. 三井住友建設との統合効果
4. 還元方針について

1. 2026年3月期 期末業績予想修正

- 三井住友建設の連結子会社化により、**売上高・事業利益が増加**の見込み
- 持分法適用会社(東洋建設)の株式譲渡により、**事業利益が増加**の見込み
- 金融資産の評価益計上等により、**当期純利益が増加**の見込み
- 今回の通期業績予想修正に伴い、**期末配当を増配**

注：カッコ内は対売上高比率

	FY25通期計画 (当初)	FY25通期計画 (統合後)	差額
売上高	8,963億円	1兆1,310億円	+ 2,347億円
事業利益	545億円 (6.1%)	773億円 (6.8%)	+ 228億円
EBITDA ※ 1	918億円 (10.0%)	1,201億円 (10.6%)	+ 283億円
当期利益 ※ 2	334億円 (3.7%)	510億円 (4.5%)	+ 176億円
配当額	60円	78円	+ 18円

※1 EBITDA : 事業利益 + 減価償却費

※2 当期利益 : 親会社の所有者に帰属する当期利益

2. 中期経営計画『INFRONEER Medium-term Vision 2027』業績目標修正

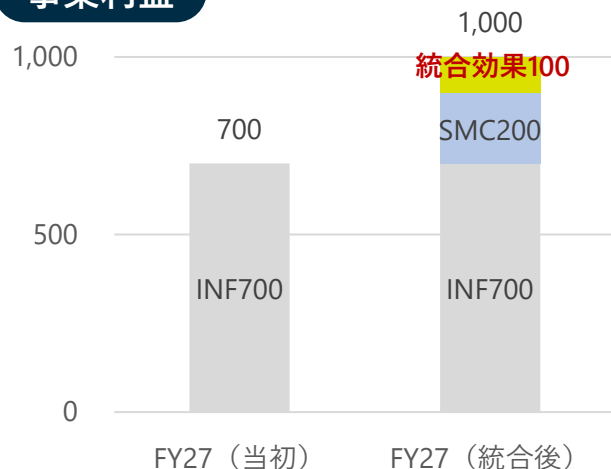
4

- 三井住友建設統合により、事業利益1,000億円、EBITDA1,510億円、当期利益630億円を見込む
- 当初の中期経営計画で掲げた**FY30事業利益1,000億円を前倒しで達成する計画**
- 事業利益では、**統合効果により+100億円**(当初INF:700億円、SMC:200億円)、
当期利益では**金融費用の削減等により+90億円**(当初INF:430億円、SMC:110億円)を見込む

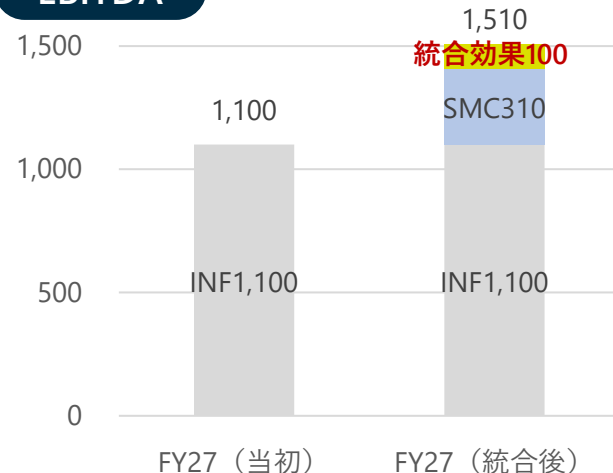
	FY27通期計画 (当初)	FY27通期計画 (統合後)	差額 (統合効果)
事業利益	700億円	1,000億円	+ 300億円(+100億円)
EBITDA ※ 1	1,100億円	1,510億円	+ 410億円(+100億円)
当期利益 ※ 2	430億円	630億円	+ 200億円(+90億円)
付加価値額 ※ 3	2,250億円	3,340億円	+ 1,090億円(+100億円)

※1 EBITDA：事業利益＋減価償却費 ※2 当期利益：親会社の所有者に帰属する当期利益 ※3 付加価値額：事業利益＋減価償却費＋総人件費＋研究開発費等

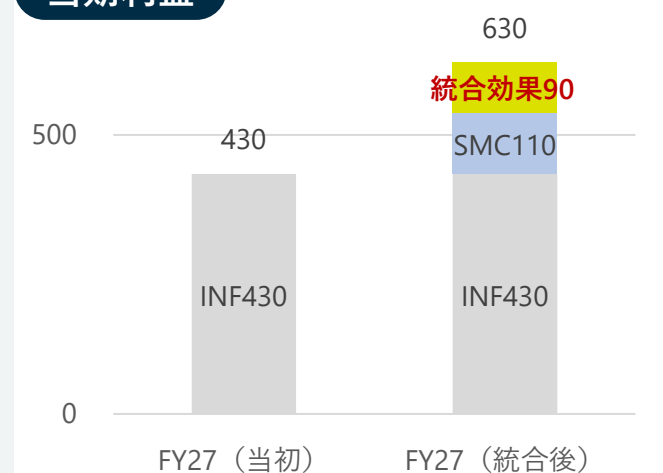
事業利益



EBITDA



当期利益



※INF：インフロニア・ホールディングス株式会社 SMC：三井住友建設株式会社

3. 三井住友建設との統合効果

請負

三井住友建設の建築事業の**早期回復**

スケールメリット並びに両社の**エンジニアリング力**を生かした**競争力強化**

脱請負

国内における**脱請負事業の拡大**

海外事業への展開

コーポレート

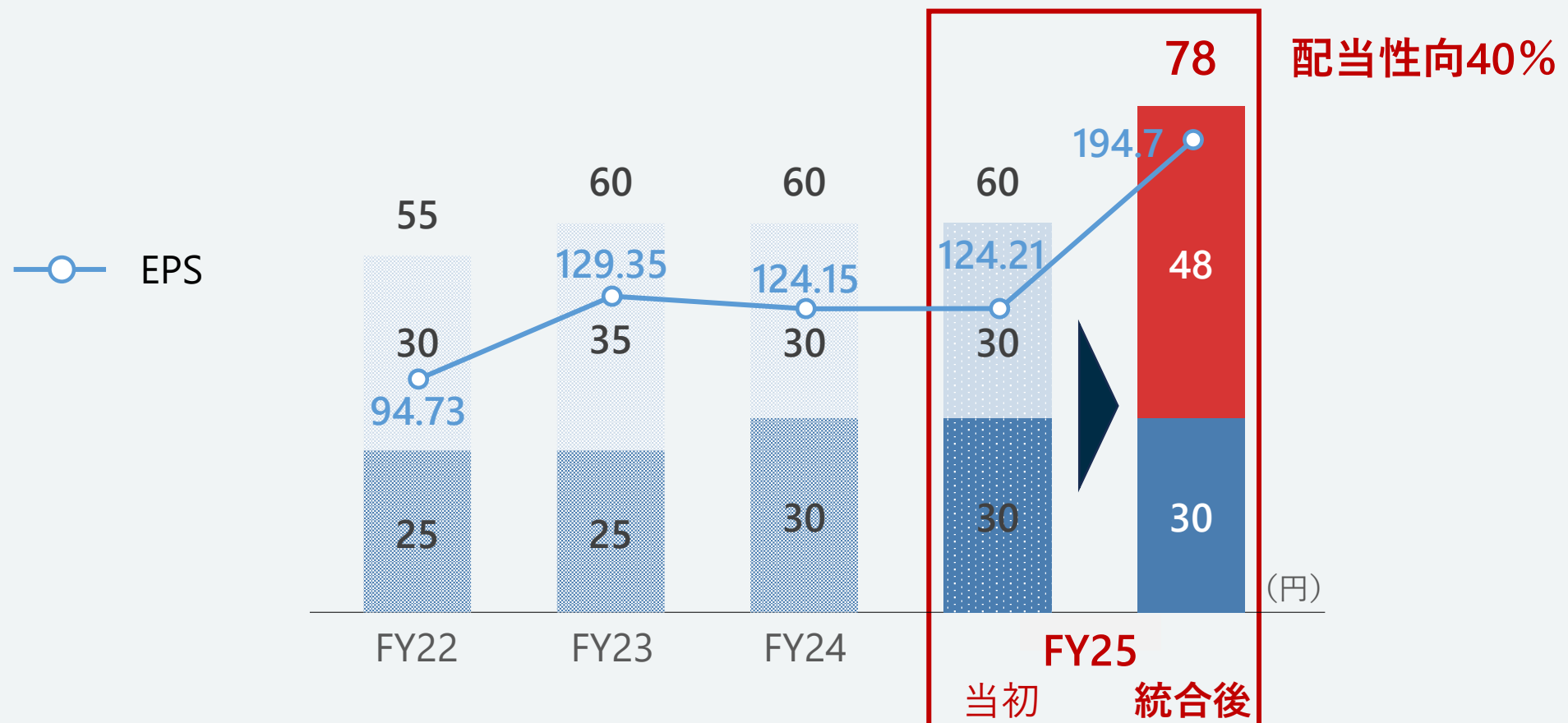
金融収支の改善

拠点等のアセットの一体的な運用による**経営の効率化**

4. 還元方針について

- 中期経営計画『INFRONEER Medium-term Vision 2027』の還元方針に基づき
配当性向**40%**以上、下限配当**60円**を継続
- 三井住友建設の統合等による当期利益の増加を受け、当初の予想（当初年間配当金60円）から**18円**増配し、
当期年間配当金は**78円**（中間配当30円、期末配当48円）とする計画

※ 上記は、普通株式に係る配当です。社債型種類株式の配当につきましては修正はありません



【注意事項】

本資料に記載されている業績数値は、決算短信の数字を億円単位とし、四捨五入しております。
また、業績計画等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、実際の業績は、様々な要素により記載の数値とは異なる結果となる可能性があります。

インフラの未来に挑む
Challenge the status quo

 **INFRAONEER Holdings Inc.**